

全国共済水産業協同組合連合会

代表理事会長 楠田 勇二

浜の笑顔を 共済とともに

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、浜の皆様にご挨拶を申し上げます。

平素より J F 共済に格別のご高配を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

はじめに、2024年元旦に発生した能登半島地震をはじめ、これまでに台風や地震等の自然災害により被害に遭われた全国各地の J F 組合員・漁家世帯員および地域住民の皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げますとともに、未だ不自由な暮らしをされています方々へ、一日も早い復旧をお祈りいたします。



能登半島地震では水産業に甚大な被害を受けました。また、高齢化や漁業従事者の減少、海洋環境の激変に伴う主要魚種の不漁が続くほか、不安定な社会・経済情勢、物価の高騰、ALPS処理水問題など、漁業者や J F を取り巻く事業環境は先行きが見通せず、依然として厳しい状況が続いています。

こうした中、J F グループでは、昨年12月4日の J F 全国代表者集会において、2025年からの運動方針「海洋環境の激変に立ち向かう J F 自主改革の断行」を決定し、①漁業者を支える事業・経営改革の断行、②組織基盤の確立、③浜での中核的役割発揮による漁村・漁業への貢献を3つの柱として取り組むこととなりました。その中で、J F の主要事業である共済事業につきましては、「浜のあんしんサポート運動」を積極的に展開し、定着させることにより、組合員・地域住民一人ひとりに寄り添った保障提供を進め、J F の共済事業収入の増大に取り組むことが決定されました。J F 共済としましては、2025年は「浜の笑顔を 共済とともに J F 共済3か年計画」の最終年度として、J F グループの運動方針に則り、「浜のあんしんサポート運動」の展開とさらなる定着を図ることで、皆様の暮らしの保障に万全を期し、事業量目標の必達と保有契約量の維持・拡大に邁進してまいります。

特に、2025年は阪神・淡路大震災から30年となる年でもあり、近年自然災害が頻発・激甚化する中、J F 共済の役割は重要性を増していると考え、引き続き J F 組合員・漁家世帯員および地域住民の皆様にご安心をお届けできるよう役職員一同取り組んでまいります。関係者の皆様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして、最後となりますが、全国の浜の皆様の操業の安全とご繁栄・ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。